

会 議 録 (会議経過含む)

会議の名称	平成28年度第3回まちづくり協議会
開催日時	平成29年3月13日(月) 午後3時～
開催場所	善隣館「市民ホール」
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	「出席者名簿」のとおり
<p><b>会議次第</b></p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 説 明</p> <p>(1) ねんりんピック秋田2017のPRについて</p> <p>(2) 由利本荘市総合防災公園((仮称)由利本荘アリーナ)について</p> <p>(3) 公立保育園民営化及び地域資源を活用した新しい産業の育成事業について</p> <p>(4) 鳥海山・飛島ジオパークについて</p> <p>3. 協 議</p> <p>(1) 平成29年度予算・主要事業について</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉 会</p>	
会議の経過	別紙のとおり

◆出席者名簿（敬称略） 出席委員：10名

役職	氏名	出欠	行政出席者名簿	氏名
会長	佐藤 イネ子	○	総合防災公園管理運営準備事務局長	袴田 範之
副会長	二見 幸雄	○		
委員	佐藤 寛夫	○	総合防災公園管理運営準備事務局班長	山住 賢一
委員	板垣 武司	○		
委員	村上 典夫	○	保育園民営化・地域資源を活用した遊び推進事務局長	大場 ひろみ
委員	照山 カイ	○		
委員	正木 みえ子	—	健康福祉部長寿支援課ねんりんピック運営班長	鈴木 司
委員	石川 ひな子	—		
委員	高橋 文子	—	健康福祉部長寿支援課ねんりんピック運営主査	齋藤 祐介
委員	沢井 英樹	○		
委員	佐藤 耕秀	○	由利総合支所長	熊谷 甚悦
委員	板垣 昭男	—	振興課長	豊嶋 喜一
委員	阿部 一彦	—	市民福祉課長	佐藤 繁俊
委員	佐藤 俊弘	○	産業課長	三浦 薫
委員	佐藤 君雄	—	建設課長	植村 浩光
委員	酒田 憲	○	由利教育学習課長	板垣 陽一
			振興課 参事兼課長補佐	木内 卓朗
			振興課 振興班長	木内 まり子
			振興課 主査	小田嶋 一成

## 平成29年度 第3回 由利まちづくり協議会

と き 平成29年3月13日（月）午後3時～  
ところ 善隣館「市民ホール」

### 1. 開会（進行：豊嶋振興課長）

佐藤イネ子会長あいさつ

皆さんお久しぶりです。年度末を迎えて忙しい中、そして春めいてきましたので農作業も忙しくなっていてこうとしている中こうやって集まっていただいております。今日は本庁の方より、いろいろな計画について説明をしてくださるといふことで、5名の方がいらっしゃっております。様々なことが説明されると思いますが、私たちがしっかりと受け止めて前に進んでいきたいなと思いますので、今日はどうぞよろしく願いいたします。

### 2. 説明

#### （1）ねんりんピック秋田2017のPRについて

健康福祉部長寿支援課ねんりんピック運営班鈴木班長、齊藤主査から説明。

##### ●F委員

バッチの中に花がありますがこの花は何ですか。由利本荘市に関連があるものかと思いますが。

##### ●齋藤主査

バッチのデザイン複数種類がありますけども、全て県の方で統一してデザインを作成しておりますので、申し訳ありませんが花の種類は確認しないとわかりません。

#### （2）由利本荘市総合防災公園（（仮称）由利本荘アリーナ）について

総合防災公園管理運営準備事務局袴田事務局長、山住主査から説明。

##### ●A委員

いろいろなことができるということで完成すれば立派なものができると思いますが、カダレでできることもこちらでやることになれば、さみしくなるのではないかと思います。

##### ●袴田事務局長

カダレの大ホール1100人というキャパがあります。どうしてもそれ以上のコンサート、いろんなところで今やっているのは、5000人、7000人、10000人というアリーナを活用したコンサート。そういうものが同様な施設でやっております。ですから、多人数のコンサートとカダレでやるのは1100人という使い分けをしたいと思っていますし、アリーナの方はどうしてもスポーツ関連が中心となると思いますし、どうしてもカダレでできない、例えば2000人以上の規模の講演会とか研修会とかうまく使い分けをしていきたいと思っています。

##### ●A委員

使い分けということですのでいいかと思いますが、同じ事を繰り返しますが、カダーレ周辺がさみしくなったということにならないように配慮をお願いしたいと思います。

●B委員

今日初めて中身を見せていただき、素晴らしいなという感じがしました。山形天童市にある、山形総合スポーツ公園にも劣らないのかなと思います。ただ、これを利用する側としてお聞きしたいと思うのですが、食堂などは常時併設されているのですか。

●袴田事務局長

当初スタートの時点では、まだ常設レストランというのは設置する予定はありません。ただ、この施設は指定管理者制度を導入して、市が直営ではなくて業者に管理を任せる予定ですので、指定管理者が例えばさきほど絵に出ましたが鳥海ラウンジのあたりでカフェとか軽食を出したいということであれば指定管理者の責任でやりますので、可能になるかと思います。今年中に指定管理者を決めていきたいと思いますが、飲食の部分については、今後協議していく事になるかと思います。

●B委員

それから今、指定管理者制度ということで市の管理ではないといこうとでしたけども、料金的なものは市で把握していないのですか。指定管理者である程度煮詰まっているものですか。

●袴田事務局長

料金についてはあくまでも市の条例で決めるということになっておりますので、先般の3月の定例市議会の方で決めさせていただきました。これを元にして指定管理者と市が協議してその範囲内で実際の料金を決定していくということになりますので、これもまた来年にならないと具体的なことは決まらないと思いますが、上限は決まりましたので、近いうちに市民の皆さまにもお知らせできるかなと思います。

●B委員

そうすると、県立のスポーツ施設等とあまりに変わらない料金制度でいけるという感じですか。

●山住班長

全県の体育館を見させていただいておりますけれども、これが正式な金額ではございませんのであれなんですけども、バスケットボールコート1面、要するにメインアリーナ4分の1面を借りる場合、650円程度1時間掛かると思っていただいて結構だと思います。県の施設ですと1時間700円程度だと思いますし、あとは500円の所だとかありますけども、新設の施設であるということもございますので、だいたいそのあたりで650円程度と考えていただいて。後は使用する時間帯ですとか、例えばプロバスケットボールだとその5倍だとか、コンサートだと10倍だとか決めさせてもらっていますけれども、一般の皆さん、市民の皆さんであれば650円、それに減免だとか免除だとか、規定もありますのでそれに照らし合わせてという形になりますが、基本的には全県のアリーナ施設と変わらないと考えていただければと思います。そこが上限として指定管理者と協議という形になります。

●B委員

そうすれば700円以下ということでしたけれども、例えば近くの人達が、いつもスポーツクラブをやっている人達が、週に何回か定期的にお借りしたい、または、子供たちのスポ少とか子供たちとの関わり、料金に対していくらか減免があるとかどのようになっていますか。

●山住班長

先ほど減免の話しをさせていただきましたけれども、だいたい半額くらい、市民の団体だとかスポ少だとか中学校の部活だとか考えられますけれども、そういった任意の団体は半額程度と考えておりますし、後は他の施設もそうでしょうけれども町内会とかそういった場合に、町内会活動としての本来ある活動をやる場合には免除になったりですとか、そういったことも決めております。そういった所も指定管理者が決まってからでないし実際のこれについては半額だとか、免除だとかだせないところもありますので、今のところはそういったことと考えておりますし、そうしていただくように指定管理者の方と協議していきたいと考えております。

●B委員

わかりました。今、現存する施設において子どもを中心とした活動とか、そういうのは料金を取らないとか、そういうのが大半でやっているみたいですので、できればそういうふうに定期的に使うスポーツ団体とか、子どもさんがやった場合は、極端なはなし料金が掛からないで使えるとか、そういう話し合いにもっていったら使えれば使う側としてありがたいなと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

●C委員

大変豪壮な建物でちなみにですが、年間のランニングコスト、維持費はどれくらい掛かるものですか。試算しているものですか。

●袴田事務局長

今まだ精査中のごさいますて、ランニングコストは、全体の運営管理費ということで、だいたい今の精査している中では1億8千万円ぐらひは掛かるかなと。前は2億という算定結果を出して議会だよりか何かに出たと思いますけども、精査したところでは、今のところは1億8千万円ぐらひ管理運営費が掛かるのではないかと考えております。

●G委員

土日、結構本荘大橋を通るのですが、かなり混み合います。そういうイベントとかスポーツの大きな大会があればもっともっと混み合うと思うのですが、その点に対しての何か対策はありますか。

●袴田事務局長

由利地域振興局方向からの丁字路の流れに関しては今と同様に混み合うことなるかなと想像しておりますけども、アリーナの周辺、今まだ道路が整備されておられません、並行して市道とか、整備されます。特に石脇通り線という由利橋の方から行く道路から抜ける道路を拡幅したり、あと裏手の方にも市道一本通そうとしておりますので、大橋の方から混み合うとしても石脇通り線の方とか、秋田方向から来る場合はあまり関係ありませんでしょうけども、そこら辺で若干混むことにはなるかと思ひますけども、周辺道路も整備しておりますので、やってみないとわかりませんけれどもそんなにでもないのかなと考えております。

●G委員

ほんとに混んでいるのですが、やっぱりそういうこともきちんと考えてやっていただければなと思います。

(3) 公立保育園民営化及び地域資源を活用した新しい産業の育成事業について

保育園民営化・地域資源を活用した遊び推進事務局長保育民営化大場事務局長から説明。

●A委員

オープン後の職員の配置について聞きたいと思います。1月に旧由利町では市政懇談会ってあるんですけども、市政懇談会の時にも話しでましたけども、ボランティアということですから、ボランティアだと何か起きたときに責任の負いようがないのではないかと質問した記憶がありますけども、今聞いてましたけども、オープンの後はボランティアと言っていましたけども、きちっとした職員というか、責任のあるというか、何か起きたときに困るのではないかなと質問したのですけども。子どもがいるということは保育士さんとか、何かあったときに看護師さんとか責任を持てる職員を常時置かないとうまくないんじゃないかなと思ったもので。そういうこと思いながら聞いていましたけれども、オープン後はボランティアという言葉が出てきましたので、責任を押しつけるわけにはいきませんので、その説明をお願いします。

●大場事務局長

おっしゃるとおりのボランティアだけの運営ではなくて、まだ決定ではないのですけれどもオープンと同時にこちらの施設も指定管理者制度を使いまして、指定管理者さんの方に運営をお願いしたいと思っています。そちらにはそれなりのスタッフが整っている形の団体さんということで、その内容での公募かあるいはそういう形になろうかと思いますが、それは今後の検討になります。ボランティアという形を使わせていただいたのですが、あくまでもどなたでもどうぞというわけではなくて、今おっしゃっていただいたとおり、子どもさんを見守っていただく方、それからおもちゃの遊び方を習得していただく方、そういうような中身の講習会を受けていただいて、東京おもちゃ美術館では学芸員という名前ですけれども、29年度中はそういう人材のための育成講座というものも作りまして、見守っていただける方々への講習を進めさせていただいて、そういう認定もさせていただいたうえで、そういう方々をある程度の人数配置させていただくというところで、その指定管理としての運営スタッフ以外に地元の方々にもそういう形で、ご参画願えればという意味でのボランティアというところでございます。ただあくまでも学芸員さんだけに限ったものではなく、地域の方々にはお遊びいただきながら見守っていただくという形をとっていただければとも思っておりますので、よろしく願いいたします。

●D委員

旧鮎川小学校を守るといいますか、着目してなんとかして維持させようとする動きがあつて、そのために一つの団体として鮎の風というのがあります。鮎の風というのがおっしゃられるボランティアあるいは、その後に直結したという形で今まで盛大にというか、ほそぼそとやられてきた活動があるのですが、こちらの方との関連は何か関連づけた活動にしているのか、一切それとは関係なく指定管理者に委託していくのか、その辺の考え方はどうなっているものですか。

●大場事務局長

これまで鮎の風さんがいろいろやって来てくださった事業とか、それ以外にも大人の登校日ですとか、いろんな形で旧鮎川小学校を使っていたと思っています。今後もそういう風な使われ方を全て排除する形ではなくて、大所をおもちゃ美術館として整備させていただきませんが、礼法室とかそのまま残したいと考えておりますし、大人の登校日で使われる教室もそのまま残した

いと思っております。それから鮎の風さん方のコンサートもやっていただけるように舞台もそのまま、音楽室もそのまま使えるようにこれまで使っていた方々の活動なり、今後も使っていただけるような所を残しながら、ただおもちゃというものを配置させていただいて、遊びの場も作らせていただくという方向での整備を考えておりますので、今後も年に何回かコンサート活動をしたいとか、展示会をしたいという時には、そういうことの調整を運営スタッフがとりまして、そこのところでいろんな行事を中でやっていただければと。あくまでも、おもちゃ美術館だけになるという構想ではなく、皆さんのこれまで使っていた方々と、一緒になって使っていける施設になっていければなという構想で整備を進めようと考えております。

●D委員

今、言われた構想というか考え方というか現実にまだ活動中の鮎の風の方と、いくらかでも協議、もしくは今後の方針のすり合わせとかといった行動はされていますか。

●大場事務局長

鮎の風の代表者さんの方にはこの構想は最初の頃からお話しさせていただいておりますし、今こういう形で進んでいるということで途中経過もお話しさせていただいております。ただ鮎の風さんが事務局として使っている場所とか、置いていただいている物についてはちょっと移動願わなければいけない部分もありますので、そちらの方のお願いも差し上げながらご協力いただければということでお話しさせていただいております。

●D委員

十分な協議されているということであればよろしいですが、現実を申し上げますと、小澤さんという会長が強引にもいろいろなところに顔が利くものですから、事業を引っ張ってきたという経緯があるわけですが、小澤さんが横浜の方の人なものですから、その人が何でもかんでもやれるわけではなくて、現実には私から見ると役場の職員の方々が大変苦労して今まで維持してこられた。鮎の風のそのものの運動でもですけども、とってみてました。私も地元の間人なものですからいろんな意見を聞いているのですが、その中で役場はこれまで構想を持っていくということを中心にした、そういう活動で校舎跡地を維持しようということなのであれば、ということでおそらくは鮎の風一区切りということで解散されると聞いていたものですから。そういう話し合いはされていませんか。

●大場事務局長

直接の解散のお話しとまではちょっとまだ伺っていないところなのですが。

●D委員

いずれにしろまだ決まったわけではないのでしょうから私から申しあげる必要のないところですが、私あの建物は解体すべきという一貫した意見を持っていたのですが、私と正反対の意見の小澤さんが、ひねくれているものですから私と妙にうまが合ってしょっちゅう私の所に来るんですよ。この次24日に役員会があると。そのときに役員の方々に申しあげるという腹案を私の所にFAXで送ってきまして、私もいろいろ頑張ってきたけどもいい区切りになるので、いったん私も身を引いてという文面がFAXで送られてきているのです。小澤さんにしてみればそれもまた一つの考え方として、思いつくだろうと想像できるわけで、鮎の風そのものが今後も今までと同じような活動をされるのか私もわからなかったものですから、すり合わせがあるかないか私は直接なるべく関与しないようにしているものですから、もし維持したいということであれば十分に協議必要なのかと思って確認させていただきました。

●大場事務局長

今おっしゃっていただいたとおり、これまで使っていただいていた団体さんの方とはお話しさせていただいて、さきほども繰り返しになりますけども、あくまでも皆さま方の使っていただいているのと一緒に育っていければと考えておりますので、ただ、鮎の風の実行委員会さんの方の活動が今後どうなるかというところを後で教えていただきながら、そういう行事とかもすり合わせさせていただきながら、オープン以降の活動についても準備を進めていければと考えておりますので、逆にいろんな情報を教えていただければと思いますのでどうぞよろしくお願いします。

●E委員

保育園の民営化の送迎の件ですが、保育園にある送迎バスがほかの園にはないと。今あるバスが老朽化したとき買い換えるのか、一律で送迎なしになるのか。

●大場事務局長

おっしゃるとおり園バスがあるのは、ゆり保育園だけで、ほかの市立の保育園にはございません。今後、新しく運営していただく社会福祉法人との話し合いの中では、由利の園バスはそのまま継続すると。ずいぶん古くなっているということは承知のところでした、ただ、現在の段階ではいまある形のままで移行かけたいということですので、ゆり保育園の場合はこのまま運行を続けさせていただきますし、意向調査の結果、今運転してくださっている方々も、新しい社会福祉の方においでいただけるという話も伺ってますので、そのまま今のところはできる限り続けていっていただきたいというところが一つと、ただ、今おっしゃっていただいたとおり、あくまでも古くなっているので、更新につきましては、市としても発展計画の中に盛り込んでいたところなんですけれども、それは、市としての発展計画のなかでございましたので、今後は新しく運営していただく法人の方と協議をしながら、どういう形で存続ができるのか、あるいはできないのかということも話し合いしなければいけないと思いますし、まず第一にはそれを使っている保護者の方々がどう思っているのか、存続を願うのか、そういう所から情報集めてのことになろうかと思っておりますので、法人との協議の中でも新スタートしたあかつきには、保護者との話し合いも含めたうえで、今後の継続とかについては考えていきたいと。その方向性が見えたあかつきには、市の方と相談してどういう形が見つけられるのかを考えていこうということで、結果的には今何も決まっていないということなのですけれども、まず継続して話し合いを続けましょうというところなんです。

●A委員

今現在保育園バスを利用しているということは、親が仕事に行くのでなるべく短い時間で近い人は送迎していますけども、離れていると自分の持っている仕事に差し支えるので、バスを利用していると思うんですね。さっき言われたようにバスが老朽化したのでだめだということでは、そういうことはこれから子どもを保育園に入れる人は望んでいないとか、想定していないと思うので、古くなったのでやめますではなくて、ほかの地域にはバスがないから今のバスを使うだけ使った後は知らないということではなくて、あくまでも今の形を続けていかないうまくないと思うのです。若い親たちは言う機会もないし、言えないものだからそこは考えてほしいです。

●大場事務局長

受け賜りました。今言っていただいたとおり、古くなったからやめるということが決まっている訳ではなくて、いずれ老朽化しているものについては今後協議を続けていきたいと思いますというところで、その段階では使っていただいている保護者様方と話し合いでいろんなご意見を伺いながら

存続なりその方向を探っていきましょうということにしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

●A委員

話し合った結果、親が強く言えなくて仕方ないということではなくて、バスはいらないですよ、送っていきますと親は言わないと思うんですよ。私はそのあたりを言いたいんです。現実に利用している親は言えないものだから、言えば言うほど白い目で見られたくないっていうのがあるものだから、そういう意味で話し合うまでもなく、それは続けていくべきだと思いますということ言ってるんだけど。

●大場事務局長

受け賜りました。

(4) 鳥海山・飛島ジオパークについて

振興課木内班長から説明。

●F委員

5ページの(3)のジオお菓子とかジオグルメ、由利本荘地域で何か現在あるか教えてください。

●木内班長

由利本荘地域ではまだ完成しておりません。1月にアイデアレシピコンテストを行っておりますけども、まだ製品化までには至っていないという状況です。

●E委員

ジオパークを回る場合に足が必要かと思いますが、高原鉄道のバス事業が赤字ですので、できればそちらの方を使っていただければと思います。

●木内班長

市の幹部職員なども高原鉄道のバスを利用してジオサイトを視察したりなど行っておりますが、ご意見として受け賜りたいと思います。

3. 協議

(1) 平成29年度予算・主要事業について

支所の各課長から説明。

●A委員

明法の橋から森子の橋まで桜の木がありますけれども、何年か前からアメシロではないと思うんですけども大きな幼虫、何とか蛾とかいう幼虫だと思うんですけども、桜の木の薬剤散布はどういう感じになっていますか。小さいことですけども国交省だとか、市の方だとか責任の所在がないと。何年か前からずっと起きているものですから。

●植村建設課長

桜堤公園と言って市の方で管理しています。ようするに建設課で管理しています。去年はやれなかったんですけど、おとし前郷区会からアメシロなど虫の被害で一斉に防除しなければ意味ないのでは無いかと言われてまして、シルバー人材センターにお願いして薬剤を散布しております。

去年については、緑の虫だと思いますが、桜に若干はついておりましたが山の方がひどかったです。効く薬がわからなかったものですから、去年の夏には対応できませんでした。今後、桜の管理はこちらでやっておりますので、見つけ次第に聞きながら対応していきたいと思います。情報の方教えていただければ助かります。

●A委員

そこをやらなければ次の年に害を及ぼすのがわかっているものですから、10月頃に桜の木何本か葉っぱが無くなっていることがありますので、葉っぱが喰われた状態になる前に手当てするようにお願いします。

●E委員

アメシロの機械いつまで農協にしているのですか。

●三浦産業課長

今の状況ではそのまま農協と契約しておりますので、今の状況のままで起きたいと考えております。

●E委員

朝8時から作業開始したくても開けてくれないです。去年は、2回目が前の日に借りて防除しています。結局、8時半過ぎないと開けてくれないです。そうなれば作業がどんどん遅れて、夕方5時過ぎてもまだ防除する事態になるものですから何とかお願いします。

●三浦産業課長

朝早くどうしても借りたいという方が以前いたのです。この話は、元支所、旧役場の時です。その時は市の職員が行って、市もやっぱり開けれない状況もありましたので、農協の方でもそういうことがあるのではないかなと考えておりました。じゃあどうすればいいかとの中では、前の日に借りることできないか、5時頃にセンターに行って、次の日借りるということで、借りてもらえないのかなと、朝はどうしても向こうの方でも8時以降でなければ対応できない、職員が出勤しないとの話しありましたので、そういうふうなことで前の日の夕方借りに来るということで対応できないかと思っております。もし聞かれた場合にはそういう話しますし、私の方も資材センターの方に対応願いたいと話いたしますのでよろしくお願いします。

●C委員

今、由利地域の事業計画、概要のひととおり説明ありましたが、市の重点施策の例えば、少子化対策、雇用対策、そういうふうないわゆる本当に由利地域の振興になっているんだとそういうふうな、額の多少はこだわらないでそういう事業ってこの中に入っていますか。いわゆる例年の継続事業とか入っていますけど、100円でも200円でもこれは地域の振興事業だと目玉的な事業は入っていますか。

●熊谷支所長

大きな意味では地域単独でなくて市の事業の中での、先ほどお話ししました中学校までの医療費無料などという形でやっていますし、それに一緒に向かっていますし、あとは、市全体としてまるごと営業本部、仕事づくり課とかまるごと売り込み課の中で移住定住も含めてサポートしていくという形で動いていると、地域単独でという部分ですとなかなか政策的な意味でいきますと、小さな所ではようやくずっと皆さんから要望のあった御伊勢下中島線の防雪柵にようやく着手

できると、そういった形で非常に小さなことですが、そういった中で通学路の安全とかといった形で、子どもさんをサポートしていくというような部分では、今年はやや動くのかなという感じでは思っておりますが、なかなか予算的にかなり地域が単独で持つ部分は非常にきついところがあります。住んでの方々の希望を聞いていますと自分たちの身近なところの修繕等を何とかお願いしたいということもありますので、それについては規定の予算の中でできるだけ軌道的に対応しながら、やっていけるようにといった形で対応することで、地域の皆さん方の満足度を上げていければなど、気持ちの中でのそういう対応をすることでなんとか幸福というか幸せに生きていきたいと今のところは考えているということですので、なかなか個別具体的に何か無いのかと言われても、全体の中での対応という事でしかやれない部分ということで何とかご理解願いたいと思います。

#### 4. その他

振興課小田嶋主査からまちづくり協議会で協議した、提案事項を市へ提出した旨報告。

(閉会にあたり熊谷支所長より挨拶)

委員の皆さんには、年度末お忙しい中、日中の会議でございましたが、参加していただきましてありがとうございました。いろいろと振り返りますとまちづくり協議会というのは、皆さま方は2年目に入っておりますので今年の7月で任期が来るという形ですが、前任の委員の方々は、中には残留していただいておりますけれども、新しい支所庁舎建設予定地を決めるといった大きな仕事にも関わってもらいましたし、現在の委員の方々につきましては、平成27年から始まっています市の新しい発展計画、総合計画新創造ビジョンとか公共施設の管理計画、保育園民営化等々にその都度説明させていただいた中で、貴重なご意見をいただいて、それぞれ進めてきていただいているということで、非常に地域のために頑張っていただいております。さらには今回、市長部局の方に報告したような形で、自主活動として分科会に分かれましてそれぞれの部会で地域づくりに資する提案をいただいたということで非常に地域のために、住民の意見を伝えるという役割を十分に果たしてきていただいて大変ありがたく思っております。先ほど言ったように今年の7月いっぱい任期は来る形にはなりますが、今後もそれぞれの立場で由利地域が発展するために助言、指導いただければ大変幸いですので、今後もよろしく願いいたします。結びに私的なことですが、私と佐藤市民福祉課長、三浦産業課長は3月31日をもって定年退職ということで、一応一区切りつけるということになります。それぞれ行く道は考えているところですが、今後我々としても地域のためにそれぞれのポジションで頑張っていきたいと思っておりますので、何とか皆さま方におかれましても先ほど申しあげましたとおり地域のために一踏ん張りも、二踏ん張りもただけですようよろしく願い申しあげまして締めあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

閉会：午後4時50分